

<b>留 学 報 告 書</b>
------------------

記入日:2018年4月30日

所属学部／研究科・学科／専攻	情報コミュニケーション学部 情報コミュニケーション学科
留学先国	カナダ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: アルバータ大学 現地言語: University of Alberta
留学期間	2017年9月～2018年4月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	School of Business <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2018年4月23日
明治大学卒業予定年	2020年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:9 月上旬～12 月下旬 2 学期:1 月上旬～4 月下旬 3 学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	
創立年	

留学費用項目	現地通貨 (CAD)	円	備考
授業料		円	
宿舍費	\$5879	499,260 円	
食費	\$300	25,476 円	
図書費		円	
学用品費	\$400	33,969 円	
教養娯楽費		円	
被服費	\$400	33,969 円	
医療費		円	
保険費	\$1168	99,000 円	形態:アルバータ大学の保険\$128+明治大学の保険 88,000 円
渡航旅費	\$2,200	円	
雑費	\$3,200	271,752 円	娯楽、インターネット費用など
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	\$13,547	913,426 円	

## 渡航関連

**渡航経路:**羽田→エドモントン

渡航費用

チケットの種類 オープンチケット  
 往路 \_\_\_\_\_  
 復路 \_\_\_\_\_  
 合計 21 万円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学の宿舎

2)部屋の形態

個室 OR  相部屋(同居人数 4 人)

3)住居を探した方法:

大学のホームページを通して

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

Maple house に滞在中。清潔でそこそこの広さがありルームメイトとの交流スペースも設けられていて快適だった。しかしこれから留学する人にオススメするとしたら International House。このレジデンスには多くの留学生が住んでおりイベントも定期的開催されるため友達が作りやすく交流の幅が広がると思う。

## 現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった  
 利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能だったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮のインターネット接続が不安定だったのでルームメイトとお金を出し合って Shaw という現地の会社の契約をした。また個人でも日本から持参した sim フリーの iPhone を使って freedom mobile という会社の monthly plan に加入していた。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

基本的には Japane net bank のクレジットカードを使用していた。現金が必要な時はそのカードから随時キャッシングしていた。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

## 卒業後の進路について

1) 進路
<input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
18 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
INTRO TO INTERNATIONAL BUSINESS (BUEC 342)	国際ビジネス入門
科目設置学部・研究科	Business
履修期間	fall term
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 80 分が 2 回
担当教授	Liu
授業内容	グローバルにビジネスを展開する上で必要な国の違いや国際貿易、投資、マーケティング戦略などの基本的な知識を講義形式で学ぶ。
試験・課題など	個人での 3 分程度のプレゼンテーションとグループでのプレゼンテーション、中間テストと期末テストがそれぞれ1回ずつある。
感想を自由記入	ビジネスの基本的な知識をわかりやすく教えてくれる。

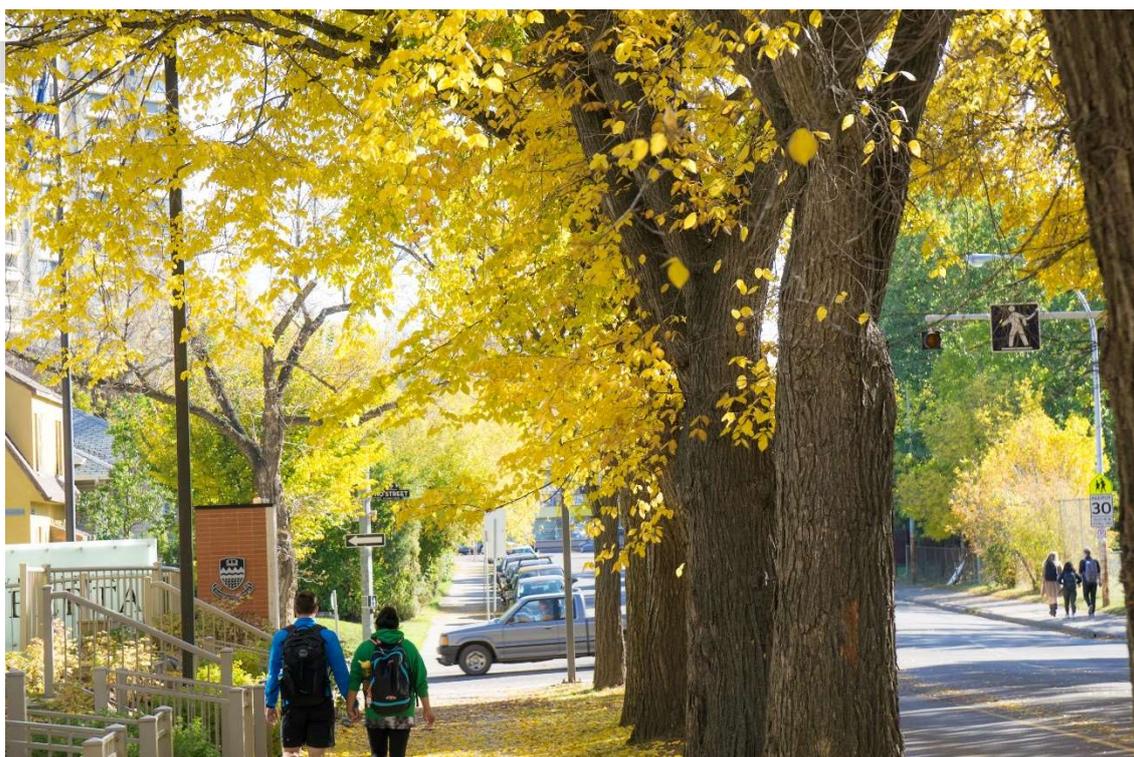
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
INTRO TO MARKETING (MARK 301)	マーケティング入門
科目設置学部・研究科	Business
履修期間	fall term
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Popkowski
授業内容	マーケティングの基礎を学ぶ。
試験・課題など	グループプレゼンテーションが1回、中間テストが2回、期末試験が1回
感想を自由記入	マーケティングの基礎をカナダの企業や多国籍企業などのマーケティング戦略を紹介しながらわかりやすく教えてくれる。熱心かつユーモアのある教授で楽しみながら学ぶことができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Consumer Behavior (MARK320)	消費者行動
科目設置学部・研究科	Business
履修期間	fall term
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に80分が2回
担当教授	Akkoc
授業内容	消費者行動に影響する要因を分析し、どのようなマーケティング戦略を立てるのかを学ぶ。
試験・課題など	個人でのプレゼンテーションとグループプレゼンテーションがそれぞれ1回ずつある。また中間テストと期末テストもそれぞれ1回ずつある。
感想を自由記入	マーケティングの授業と内容が少し被っているが、こちらは主に消費者行動を軸に学んでいく。理解できないことがあれば授業後に丁寧に教えてくれる。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Legal foundations of the Canadian Economy (B LAW 301)	カナダ経済の法的根拠
科目設置学部・研究科	Business
履修期間	winter term
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に80分が2回
担当教授	Kaulack
授業内容	カナダの法律について学ぶ。
試験・課題など	小テストと中間テストがそれぞれ2回ずつあり期末テストが1回。
感想を自由記入	専門用語が多いが学んでいることは基本的なことなので復習をすれば問題なく理解できる。テストも授業の内容を理解していれば問題なく解ける。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Seminar in International Marketing (MARK 442)	国際マーケティング
科目設置学部・研究科	Business
履修期間	winter term
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Onita
授業内容	グローバル市場に対するマーケティングを行う上で生じる問題を経済や文化、法律や政治など多角的な側面から分析する。
試験・課題など	中間テスト2回、期末テスト1回。
感想を自由記入	正直あまり内容の濃い講義だとは言えない。教授は親切な人だが、スライドにある情報を読み上げるだけで授業も活気がなく、教授としては未熟だと思う。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Strategic Marketing (MARK 452)	マーケティング戦略
科目設置学部・研究科	Business
履修期間	winter term
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に80分が2回
担当教授	Onita
授業内容	マーケティングマネージャーに必要な分析や立案のスキルを学ぶ。授業内では少人数のグループでのディスカッションが頻繁に行われる。
試験・課題など	中間テスト2回とグループプロジェクト1回。
感想を自由記入	グループプロジェクトでは現地の企業を様々な側面から分析し、新たな顧客獲得のためのマーケティングプランを提案した。相当な時間と労力をかけて完成させたプランのプレゼンを終え、プロジェクトを通して自分の成長を感じた。



留学に関するタイムチャート
---------------

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2016年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	IELTS の勉強
10月～12月	IELTS 受験
2017年 1月～3月	
4月～7月	寮の申請、授業登録、ビザ取得、航空券予約
8月～9月	カナダ渡航
10月～12月	中間試験、期末試験、プレゼンテーション
2018年 1月～3月	中間試験、プレゼンテーション
4月～7月	期末試験
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	国際化する社会で活躍する為に必須の英語力の向上と、日本を客観的に捉えグローバル視点でビジネスを学び、日本と海外を股に掛け他者に影響力を持つビジネスパーソンになるため、留学は必須だと考えました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	オンライン英会話を活用して、自分に一番欠けていると思ったスピーキングの上達に努めました。ある程度の会話力を定着させてから留学することでスムーズに交流関係を広げられたと思います。
この留学先を選んだ理由	カナダで暮らしていた経験のある両親から温厚で親切なカナダ人の人柄と彼らの英語の発音が綺麗である事を聞いていたのでカナダに留学したいと考えていた。その中でもカナダの名門大学の1つであるアルバータ大学は質の高い教育と優秀な学生が揃っているの、彼らと共に切磋琢磨したいと考えアルバータ大学に留学することを決めました。
大学・学生の雰囲気	キャンパス内には様々な人種の学生がいて平日は活気があります。どの学生も平日はきっちり勉強をして金曜の夜と土曜の夜はお酒を飲んだりパーティーをして息抜きをするというメリハリのある生活を送っています。
寮の雰囲気	寮内での交流はあまりなかったため、友達を作るには自分から積極的に他の場所で開催されているパーティーやイベントに顔を出す必要がありました。騒音が聞こえることもなく清潔感があり快適な寮でした。
交友関係	一番最初にできた友達にパーティーに呼んでもらい、そこから徐々に友達を増やしていきました。彼らと時間を共にしたことで勉強のストレスや悩みを解消することにも繋がりが、何より会話力が大きく改善されました。いろいろな人と積極的に関わってよかったですと思います。
困ったこと、大変だったこと	冬の最低気温が-30度になる事も珍しくなく、とても乾燥しているのでその気候になれるのに苦労した。 また、学校関連の手続きや携帯の修理などを始め、何かサービスを受ける際に日本では考えられないほど適当な対応をしてくる人が多く、それを受け入れるのにも時間がかかった。
学習内容・勉強について	私はビジネス学部所属しマーケティングを専攻していました。最初は授業の内容がなかなか理解できずに苦しみましたが、予習と復習を徹底することにより徐々に授業のペースにもついていけるようになりました。マーケティングの授業はプレゼンテーションが多く、特にグループプレゼンテーションでは何度もミーティングを重ね心身共に疲弊しましたが、メンバーに自分のバックグラウンドを知ってもらい、十分なりサーチと分析を行い自分のパートを完成させ毎回ミーティングに参加する事で信頼関係を築いていきました。
課題・試験について	試験は問題の形式や傾向を把握し、優先順位の高いものから順に時間をかけて準備をしました。課題の量は少なく、予習と復習に時間を割くことができました。

大学外の活動について	友達と一緒にキックボクシングの講座を受講していました。勉強の息抜きができる環境を作るように心がけました。
留学を志す人へ	留学に行く前は「英語だけでなくもう 1 つ武器になるようなものを見つけろ！」ときりに言われます。正直そんなものは日本でいくら思い悩んだところで見つかりにくく、留学に行ったあとにいくらでも見つかります。今は留学の準備をしつつ日本の友達との時間を十分に楽しんでください。留学中は友達が私生活から勉強まで様々な面で助けてくれました。積極的に交流関係を広げることでより有意義な留学生活が送れると思います。間違いなく大学生活4年間で最も濃く人生の転機となる1年になりますが、留学に行ったからといってそれが将来のビジョンを実現する成功へのファーストステップとなるかは自分次第です。常に貪欲であってください。

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業 予習		授業		授業		
		予習	予習	予習			
午後	授業	授業	授業	授業	授業	勉強	復習
		授業	復習	授業	復習	勉強	復習
夕刻		復習	キックボクシング	復習			
夜			友達とディナー		パーティー	お出かけ	

